

Daily Report (号外)

～1月の米雇用統計について～

結果概要

米国労働省が2月2日に発表した1月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比+35.3万人と市場予想(+18.5万人)を大幅に上回る結果となりました。また、12月分は+33.3万人(速報値+21.6万人)に上方修正されました。

業種別では教育・ヘルスケア業が+11.2万人(前月+8.4万人)、専門・ビジネスサービス業が+7.4万人(同+3.5万人)、小売業が+4.5万人(同+4.3万人)と伸びが加速しました。

失業率は3.7%と市場予想(3.8%)を下回り前月から横ばいとなった一方、平均時給は前年同月比が+4.5%で市場予想(+4.1%)を大きく上回り、12月分は+4.3%(速報値+4.1%)に上方修正されました。また前月比も+0.6%と市場予想(+0.3%)を上回り前月(+0.4%)から加速しました。

労働参加率は62.5%と市場予想(62.6%)を下回り、前月から横ばいとなりました。

市場反応(米国市場)

2日の米国株式市場の主要3指数は揃って上昇しました。

市場予想を大幅に上回る雇用統計の結果から、FRBの利下げ開始時期の後ずれが意識されたため、一時的に下落したものの、米景気が想定以上の底堅さを維持していることや、前日に発表された一部の大型ハイテク株の決算が良好だったことが相場を押し上げ、NYダウ平均株価は前日比+0.35%、S&P500指数は同+1.07%、ナスダック総合指数は同+1.74%となりました。

米国債券市場は強い雇用統計の結果を受けて、FRBの利下げ開始時期が遠のいたとの見方が強まったことから売りが広がり、10年国債利回りは前日比+0.14%の4.02%程度で引けました。

米ドル/円は堅調な雇用統計の結果を受けて、早期利下げ開始観測が後退したことや、米長期金利の上昇に伴い日米金利差が拡大したことから、前日比1円95銭円安ドル高の148.38円/ドルで取引を終えました。



(期間)2023/4/1～2024/2/2 (出所)Bloomberg

評価・今後の見通し

1月の米雇用統計は、市場予想を大幅に上回る結果となりました。FRBの早期利下げ観測が後退した一方で、米景気が底堅さを示し、軟着陸に向かいつつあるとの見方が強まりました。

なお、1月のデータには季節性や年次改定の影響も含まれるため、FRBは次回3月のFOMCに向けて発表される様々な経済指標を慎重に考慮しながら利下げタイミングを見極めていくものと考えます。

市場の予想する利下げ時期としては、雇用統計の発表前後で、3月の会合で利下げを見送る確率が50%程度から80%程度に上昇したほか、5月会合でも利下げを見送るとの予想は、10%程度から30%程度に上昇しました。労働市場が再び勢いを増していることが示唆されたことで、利下げが先送りされる可能性が高まっており、利下げ開始時期は5月以降となると見えています。

今後の株式市場の見通しとしては、短期的には2月5日発表の米ISM非製造業景気指数や、2月13日発表の米CPI等、引続きインフレや景気動向に関連する指標に注目が集まるものと考えます。長期的にはFRBは市場の早期利下げ期待を牽制しつつ、慎重に金融政策を実施していくとみられることから、経済指標次第のボラティリティの高い相場が継続すると見えています。

また、今後インフレが思うように収束せず、政策金利が現状の水準にしばらくの間維持されるリスクや、米景気の急減速によりFRBが早期の利下げに追い込まれるリスクには警戒が必要と考えます。

Daily Report(号外)

(ご参考) 主要業種別雇用者数増減(前月比・万人)

出所: 米国労働省

	23/8	23/9	23/10	23/11	23/12	24/1
非農業部門	+21.0	+24.6	+16.5	+18.2	+33.3	+35.3
鉱工業部門	+3.3	+2.7	-1.0	+3.6	+3.3	+2.8
建設業	+3.1	+1.3	+2.2	+1.5	+2.4	+1.1
製造業	+0.2	+1.3	-3.1	+2.5	+0.8	+2.3
資源・鉱業	+0.0	+0.1	-0.1	-0.4	+0.1	-0.6
サービス部門	+11.7	+16.9	+10.8	+11.6	+24.5	+28.9
卸売業	+0.2	+1.2	+1.2	+0.7	+1.1	+0.2
小売業	-0.6	+1.8	+0.1	-4.3	+4.3	+4.5
輸送・倉庫業	-2.8	+0.9	-0.9	-1.1	+0.2	+1.6
情報	-1.8	+1.1	-2.6	+1.7	+1.8	+1.5
金融	+0.4	+0.0	+0.0	+0.4	+1.3	+0.8
専門・ビジネスサービス業	-0.1	-0.1	-0.5	+1.0	+3.5	+7.4
人材派遣業	-1.9	-2.2	-2.3	-1.4	-1.7	+0.4
教育・ヘルスケア業	+9.3	+8.1	+7.7	+11.0	+8.4	+11.2
娯楽・宿泊業	+5.2	+2.7	+5.7	+1.0	+3.8	+1.1
その他	3.8	3.3	2.3	2.5	1.8	0.2
政府部門	+6.0	+5.0	+6.7	+3.0	+5.5	+3.6
失業率(%)	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7
平均時給(前年同月比、%)	4.5	4.5	4.3	4.3	4.3	4.5

(ご参考) 非農業部門雇用者数増減と失業率の推移

